

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成 29年 7月 28日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)		報告者の氏名(法人にあつては、名称及び代表者名) ニッタ・ハース株式会社 代表取締役社長 千葉 光隆
環境マネジメントシステムの名称	J I S Q 14001:2004(ISO 14001:2004)	
適用範囲	ニッタ・ハース株式会社 京都工場、三重工場、大阪本社、東京支店	
導入年月日	2001年 3月 28日	
認証番号	JUSE-EG-045	
基本方針	地域及び地球環境への影響を考慮して、環境負荷を限りなく低減し、環境汚染予防に努めます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①エネルギー使用量を対前年比で原単位1%削減 ②廃棄物の削減 ③緊急事態対応訓練実施 ④環境汚染防止(大気、騒音、振動、水質の基準値遵守)	
目標を達成するための取組の内容	①製造室5,6の照明をLEDに変更(平成26年度)、ボイラー送風ファンインバーター化(平成27年度)、工場棟事務所の照明LED化(平成28年度)、昼休みの事務所消灯継続する。 ②有価物処理の継続と新規引取り先調査。製品の歩止まり向上及び不良率の削減。 ③漏洩する可能性がある作業場所での実施訓練。 ④大気半年1回、騒音、振動年1回、水質月1回測定を実施。	
目標を達成するための取組の進捗状況	①製造室5,6の照明および工場棟事務所の照明のLED化を平成26年度に実施。ボイラー更新を平成28年度に実施。昼休みの事務所消灯継続中。 ②産廃物の廃油の有価物処理を開始、今後も調査継続。製品歩止まり、不良率削減目標は達成。 ③緊急事態訓練を計画通り実施。④各種環境測定も計画通り実施	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①エネルギー削減の施策実施は概ね計画通り実施出来た。 ②産廃物の削減は、平成27年度に廃油を再利用が可能な有価物として処理を開始した。今後も新規業者の有価物引き取り調査を継続して取り組む。 ③緊急事態訓練も計画通り実施する事が出来た。 ④大気、騒音、振動、水質の測定も漏れなく実施した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規要求事項一覧表を使用して、年1回定期見直しを実施している。 法律や条例改正は、担当部門が毎月情報収集とチェックを実施し、各部門に伝達して対応するようにしている。 本年度については、法規制遵守及び対応ができている事を確認した。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年1回グループ全体で内部監査を実施し、また外部機関からも毎年1回、ISO14001の審査を受けている。その結果をもとに評価・見直しを実施している。 平成28年9月の内部監査と11月の外部機関審査を受けた。評価及び見直しの結果、取り組みに効果を確認できたので見直しの必要は無かった。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。